

大学院特別講義
(歯科心身医学分野)

「症例の見方 精神科医はどのように症例をみようとしているのか」

川添記念病院 精神科医長

本村 春彦 先生

日時：平成 22 年 3 月 5 日（金） 18 時 00 分 ～ 20 時 00分

場所：1号館 6F歯学部演習室7

(講演要旨)

精神科医の症例の基本的な見方は、歯科医を含む一般的な診療各科とはかなり異なる部分を有している。どのようなところに留意しながら症例から情報を集めてそれを診断、さらに治療にいかしていくのかを具体的に示してみる。診察室の中でおこること以外のことが重要な訳や、病歴というものを他科よりは非常に詳しく聴取する訳がどうしてであるかが実感できることが講義の目標である。



人を診るという行為は、「非客観的な情報」を、その限界を弁えながらできるだけ広く長く収集し、絶え間なく再評価を修正していく作業の繰り返しであると具体的な事例も交えて、木目細かく解説して頂きました。またその時は重要と思わなかった情報も後で重要な意味が分ることもあり、「保留」しておくことの大事さも強調されていました。